



落雪によるホームタンクや配管の損傷にご注意ください！

今年は、例年の1.5倍の降雪量があり、しかも重く湿った雪となっています。そのため、落雪によるホームタンクや配管の損傷による**油流出事故が多発**しています。「今まで何もなかったから大丈夫」ではなく「今年の雪は危険である」という意識で、改めて**ホームタンクや配管の点検**をお願いします。

事故を起こすと油の撤去に多額の費用がかかり、その費用は事故を起こした**原因者が責任を持って負担**しなければなりません。事故を起こした場合や発見した場合は、**消防署(119番)・警察署(110番)**または、

お近くの**国や県の機関・市町村**へご連絡下さい!!

大規模油流出事故発生

平成27年2月12日最上川水系砂川の上流(高島町入生田地内)の事業所で、落雪により損傷した配管から約5000ℓもの重油が流出しました。

河川のオイルフェンスや吸着マットだけでなく、汚染土の回収など多額の費用がかかります。



落雪により壊れた配管



水路の油膜



平柳橋のオイルフェンス



汚染土の回収作業



国土交通省

国土交通省 山形河川国道事務所 南陽出張所

〒999-2232 山形県南陽市三間道14

TEL (0238) 43-2011・FAX (0238) 43-2411

HPアドレス: <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/nanyou/>

詳しくは、

南陽出張所

クリック

検索



ご家庭のホームタンクは大丈夫?

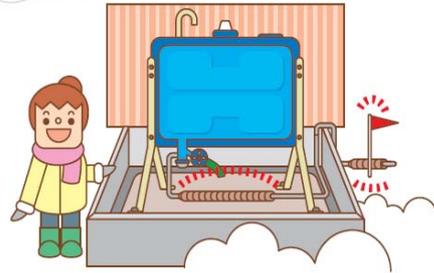
油流出事故を防ぐための心掛け

1 その場を離れない



ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場を離れないようにしましょう。

2 配管の場所には目印を



除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。また、万一に備え防油堤を設置しておく心安いです。

3 落雪に注意して



屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

4 定期点検を怠らない



配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。



∞ ∞ ∞ 油流出事故により ∞ ∞ ∞

ケース①: ホームタンクからポリタンクに小分け中にその場を離れてしまい、灯油120リットルを河川に流出させてしまった。

→約45,000円の請求

(内訳: オイルフェンス4m、浮き堰1個、吸着マット11枚)

ケース②: 工場内のボイラーへの給油ポンプ電源の切り忘れにより、重油100~200リットルを河川へ流出させてしまった。

→約850,000円の請求(内訳: オイルフェンス18m、浮き堰1個、吸着マット196枚、オイルキャッチャー161m)



オイルフェンスや吸着マット等の設置・処分の多額の費用が請求されます!!

注意! 上記の請求額は国が求めた原因者負担額であり、これ以外に県や市町村からも請求される場合があります。